

平成 27 年 年頭にあたって

2015.01.01

立命館大学技術士会
会長 大森 秀高

平成 27 年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、ようやく我が国経済に好循環に向けた動きが現れ始めていたところ、消費税率の引き上げや急速な円安の影響などもあり「踊り場」となった状況の中、経済政策の方向を問う総選挙が実施され、国民の信任を受けた第三次安倍内閣が発足いたしました。

また、昨年も広島のと砂災害や御嶽山の噴火災害などの自然災害が発生しました。被災された方々にご関係の皆様には心からお見舞いを申し上げます。安全・安心な国土の整備に向けて、また一つ決して忘れてはならない教訓を得た一年でありました。

こうした環境の中で、私どもが取り組むべき最優先課題は、将来の担い手の確保と育成であります。学生の「技術者になること」への魅力の回復、技術士を目指す後輩技術者への支援・指導であります。そのためには、会員技術士の持てる資質・能力を最大限に活かす場と機会を創出することが重要と考えております。

私は会長就任以来、持続的な発展を繰り返し述べて参りましたが、取り巻く環境が好転している今こそ躍進の時期と考えております、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、立命技術士会といたしましては、技術者を目指す学生や一般技術者への啓発としての書籍「土木！この素敵な仕事（仮題）」出版の企画につきまして、関連する有識者の皆様からご意見をいただきながら進め、7月には「電子書籍」として発表したいと考えています。

本年も、皆様と共に、技術士の社会的地位の確保・向上と持続的な発展に向けて、微力ながら努力して参りますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。